

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	14-016	
PDCA	事務事業名	ごみ減量対策事業	部課等名	市民経済部 クリーンセンター ごみ減量担当	担当	深川	
					内線等	23-3567	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第2節 環境との共生					
		基本施策： 2. 廃棄物対策					
		単位施策： (1) 資源循環型地域社会の形成					
	根拠法令等	半田市生ごみ堆肥化容器設置奨励補助金交付要綱					
	対象・目的	市民及び事業者に対して、ごみ出しルールの徹底とPR及びごみ減量につながる再利用施策の普及に努め、ごみ排出量の減量化を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助金の交付 アスパの無料配布 家庭用剪定枝粉碎機の貸出 家具等リユース事業(もったいないバザール)の開催					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助金交付基数		44	29	47	基
		②家庭用剪定枝粉碎機貸出件数		33	26	19	件
		③3Rアドバイザー会議		2	2	2	回
		事業費		5,622	5,104	4,420	千円
		人件費		24,141	25,062	28,642	千円
		総事業費		29,763	30,166	33,062	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①生ごみ堆肥化容器等1基当たり補助金		8,573	8,428	8,723	円	
	②3Rアドバイザー活動用消耗品(帽子、軍手他)		759,240	248,724	219,348	円	
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①市民1人1日当たりのごみ量(総ごみ量)	実績値	947	929	919	g
			目標値	960	935	904	
②市民1人1日当たりのごみ量(生活系ごみ量)		実績値	582	575	577	g	
		目標値	573	567	555		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい		⑦コスト削減余地 ある	
		②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある		※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない		⑧受益者負担適正化余地 ー		
	事業の評価・課題	D					
		3Rアドバイザーによるごみステーションの巡回や、市内スーパー等での資源回収状況を広報した結果、総ごみ量の減少は見られたが、生活系ごみ量の目標値を達成することができなかった。引き続きごみ減量のPRを行うとともに、3Rアドバイザーと連携した活動を行うなど、より一層、ごみ分別意識の向上を図る必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			ごみ分別アプリや市報による3RのPRを継続して行っていくほか、公共資源回収ステーションを新規開設することにより、家庭から出る資源の出しやすい体制を整備していく。また、ごみ減量施策である家庭系ごみの有料化の実施に向けて、地域意見交換会を開催し、市民意見を把握していく。				
		令和元年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			①市民1人1日当たりのごみ量(総ごみ量)		915	g	
②市民1人1日当たりのごみ量(生活系ごみ量)			554	g			